

人材獲得競争の嵐のなかで

3月14日に6期生10人が卒業し、卒業生は開校以来60人になりました。6期生は、高校新卒者が多く元気で仲の良い学生たちでした。対策は色々していましたが、元気づけて車や機械の事故などトラブルの多い一年でした。一方で今まで以上に日南町のスポーツ活動や駅伝に積極的に参加し、日南町を大いに盛り上げてくれました。蛍やイチヨウのイベント系だけでなく、農林業や道の駅のアルバイトにも参加し、働き手としても日南町の為に本当によく頑張ってくれました。

日南町のように高校がない中山間地域では、若年層の人口減少が深刻な課題です。そんな中で、20歳前後の若者が林業家を目指してひたむきに努力する姿は、日南町と宮崎県美郷町くらいで見られない光景です。卒業後、町外に就職する学生もいますが、林業アカデミーがあるからこそ、毎年一定数の若者が日南町に集まり、地域に活気を与えてくれています。これも林業アカデミーの存在意義だと思います。

急激な賃金上昇等社会情勢の影響もあり人材獲得競争の嵐のなかで、全国の林業大学校同様、力及ばず7期生は8人で定員を下回りました。創立7年が経ち教職員も充実してきたため、逆風の社会情勢の変化に負けず、一人でも多くの林業を志す若者を日南町に集め育成したいと思えます。

今年度は、地域の方々にも林業への理解を深めていただけるよう、公開講座の開催も検討していきます。林業アカデミーと7期生へ、町民の皆様の温かいご支援を心よりお願い申し上げます。



【林業アカデミーHPアドレス】 <https://nichinan-ipc.or.jp/forestry/>

日野高ニュース



1・2年次生「学びの交流」

2025.2.1(土)

4系列それぞれが別の学校を訪問し、学習活動に参加し、意見交換することで自分自身の成長につながる良い機会となりました。

総合進学系列 訪問先：米子西高等学校英語、数学の授業を見学した後、進路の先生から学習活動についてお話をいただきました。



アグリライフ系列 訪問先：松江農林高等学校「紙漉(すき)」実習は生徒同士の協力で全員完成。「食品」では味噌の製造を見学した後、トークセッションを行い交流しました。



情報ビジネス系列 訪問先：米子南高等学校「観光ビジネス」「IT戦略」「財務会計I」などITビジネス科2年生の選択授業に参加しました。



ヒューマンケア系列 訪問先：大阪健康福祉短大(安来)介助に必要な「人間の基本動作」を体験した後、学生との座談会では、本校卒業生から「施設実習で大切すべきこと」など、貴重なアドバイスをもらいました。

